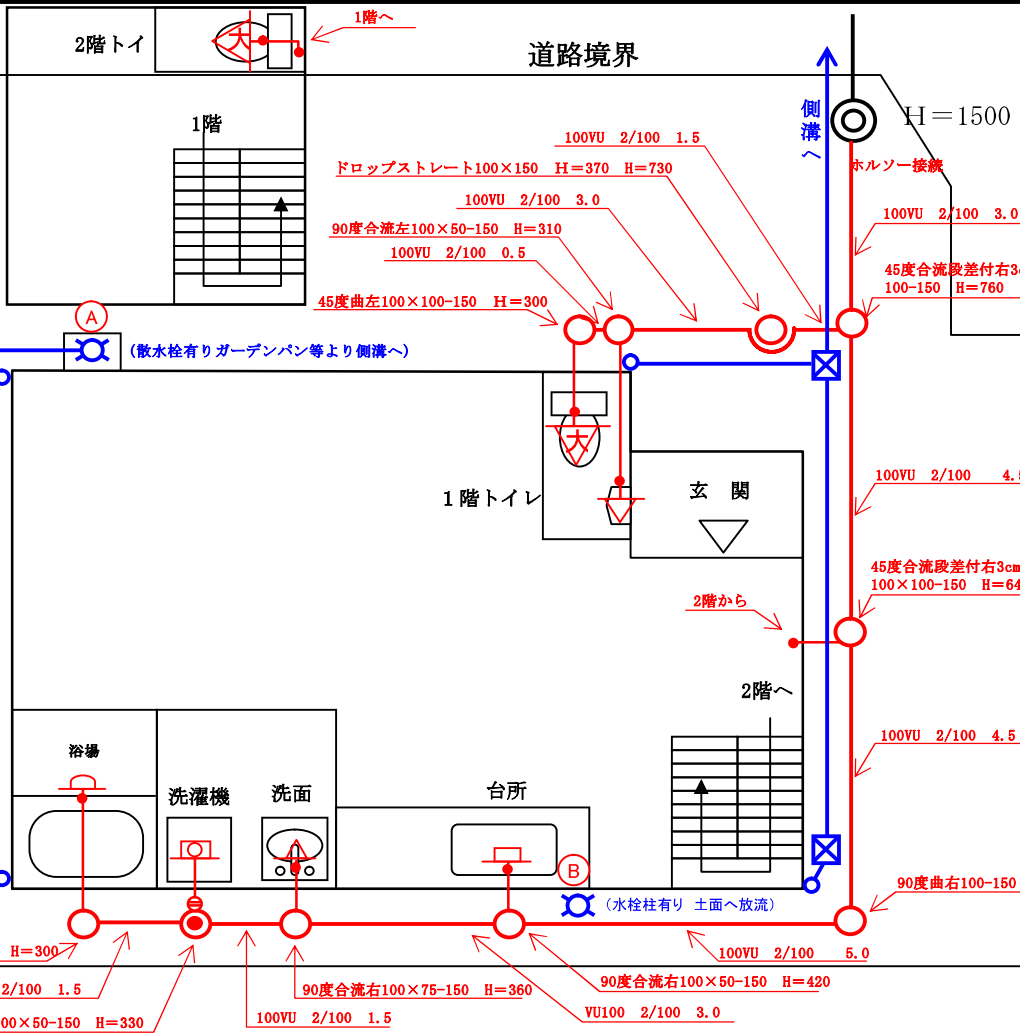


図面は詳しく書くこと

排水設備工事設計図 (甲)

記入例



※この工事において、既設管等を一部利用します。工事完了後、既設管等に支障が生じた場合は、
自己の負担と責任において処理します。

既存管利用においてその既存管が技術基準に適合しない場合は適合するよう工事するか諸事情により工事出来ない場合は別途その内容についての念書が必要です。

※器具トラップがない場合は、屋外にトラップ付ますを設けること。

申請者氏名

付近見取図

中央・東・西・南・北

P 203 - A - 4

N



(図面記号)

大便器		掃除口		汚水管 (赤色)	
小便器		汚水ます		雨水管 (青色)	
浴場		トラップます		既設管 (黒色)	
流し類		ドロップます		浄化槽	
洗濯機		公共ます		散水栓等	
手洗、洗面		雨水ます		器具トラップ	

排除方式	<input checked="" type="checkbox"/> 分流 <input type="checkbox"/> 合流
雨水の処理方法	<input checked="" type="checkbox"/> 側溝 <input type="checkbox"/> 水路 <input type="checkbox"/> 土面放流 <input type="checkbox"/> 浸透ます <input type="checkbox"/> 雨水ます <input type="checkbox"/> その他 ()

備考

- 1 図面は必ず図面記号を用いてトイレ、風呂、洗面所、台所等の位置を明示すること。また、管種、管径、管の位置、管延長(ます間ごと)、勾配(ます間ごと)等を公共ますまで明記すること。
- 2 図面を別紙にて添付する場合は、排水設備工事設計図(乙)にて上記1の内容で新たに図面を作成し、添付すること(建築時の図面を流用しないこと)。
- 3 分流式下水道において、雨水は接続しないこと。